

能登半島地震をきっかけに走り出した プロジェクト



Problem

- 顧客：山間部や過疎地等の厳しい環境下での資材・物資輸送者
 - 送電線工事・保守点検：電力会社、送配電会社、保守点検会社、等
 - 山小屋への物資運搬：山小屋運営会社 等
 - 災害・人道支援・防災・防衛：官公庁 等
- 顧客の課題：人手不足・コスト高・安全面リスク
 - ✓輸送作業員のなりて不足（人口減少、働き方の変化、肉体労働への敬遠）
 - ✓ヘリコプター輸送のコスト高（燃料費等の高騰、さらに発着現場までは人力運搬）
 - 積荷用地の確保難（敷設コスト高のため近くにない、また地権者と要調整でコスト増）
 - 輸送手段を有する者への依存度高（運搬できる物量や、納期など含め対等に交渉しにくい）
 - ✓死亡災害を含む重大なリスク有（滑落リスクや作業時の熱中症の危険）



ステップ1の成果



2025年3月:1号機(50Kg浮上)



金沢工業大学工学部
教授 赤坂剛史

スタートアップ設立による挑戦

・VTOL型有翼電動ドローン「ドローン 50/50」

◎ 最大積載量50kg・飛行距離50km超

- 短距離を無充電で何度も往復
- 長距離飛行・重貨物ドローンは希少

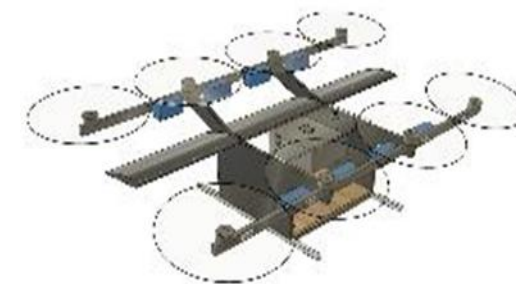
○ 垂直離着陸

- 不整地や駐車場の広さでOK

○ 電動

- 手軽・取り扱いが容易

・世界のドローン市場へ



ドローン 50/50（イメージ）